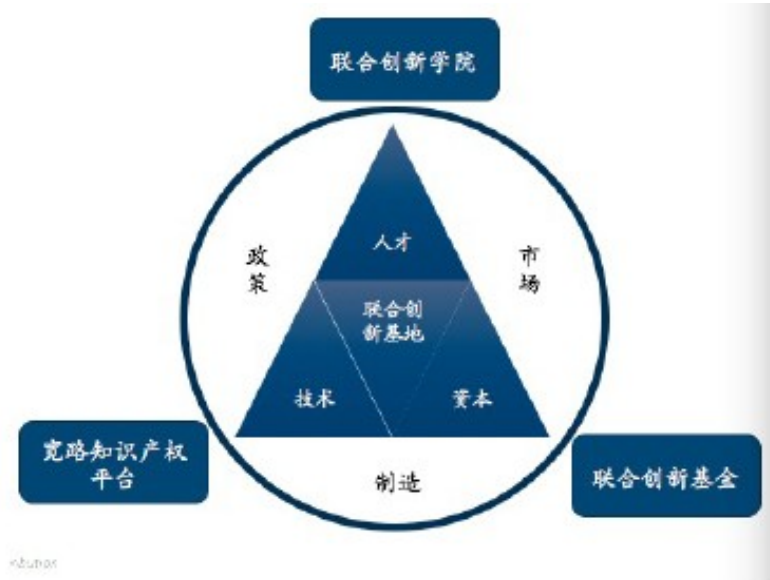


日本におけるグローバルジョイントイノベーション基地の 創立についての提案

概要

「グローバルウイズダム、ジョイントイノベーション」の理念のもとに、日本海外投資協力株式会社は「日本と世界は共同で革新する」というコンセプトを提出し、業界を超えるインベストメント及びコラボレーションでの長年の経験と結び付け、日本の世界に唯一無二の市場、人材、資本、製造・技術及び政府政策の総合優位を利用して、日本政府とともに「日本グローバルジョイントイノベーション基地」（以下は「基地」と言う）を建設する。基地は業界を超える投資基金、グローバル I P コラボレーションプラットフォーム及びジョイントイノベーションアカデミーという三大のプラットフォームによって構成される。日本を世界経済圏に最もポテンシャルのある「グローバルジョイントイノベーションゾーン」にすることを推進し、更に多くの日本及び海外企業や金融サービス機構や各界の人材が日本でのジョイントイノベーションを引き付け、協力しウィンウィンに達し、後世の人に幸福をもたらす。

图 1.ジョイントイノベーション基地の全体の構想



一、グローバルジョイントイノベーションリード基金の創立

日本海外投資協力株式会社は日本政府及び金融機構とグローバルジョイントイノベーションリード基金（以下は「ジョイントイノベーション基金」と言う）の設立を提案する。ジョイントイノベーションリード基金は米ドルと日本円の基金からできる。

ジョイントイノベーションリード基金のメイン投資方向は下記通りである。

（1）米ドル基金で世界の成熟した技術及び知識財産権（以下は「I P」と言う）に投資する。

（2）日本円基金で優れた I P と日本企業が日本で成立する協力企業に投資する。

1. ジョイントイノベーションリード基金のポジショニングと投資方法

ジョイントイノベーションリード基金の投資作戦は投資利益率を追求すると同時に投資を受けた企業の成功率を上げることである。ジョイントイノベーションリード基金は世界において日本産業ニーズに合う成熟した技術、I P を選別して、それらの I P を日本の上場会社、中小企業及びパートナーとドッキングさせ、共同で日本に合弁会社を創立し、また一部の合弁会社に投資する。

2. 伝統的な P E / V C と比べる基金の優位

日本海外投資協力株式会社はジョイントイノベーションの投資方法を唱え、投資的的是スタートアップではなく、世界での成熟した技術とIPである。成熟した技術によって賢い人材と資本の協力を引き付ける。こういう強いタグを通じて、投資された企業の生存率を大幅に高める。同時に、ジョイントイノベーション基金には短い投資周期、素早い退出ルート、高い金融のてこ、大量な外貨の節約などの特徴がある。

3. 基金管理チームの優位

日本海外投資協力株式会社及び協力する管理チームは30年以上の日本と海外投資革新の経験を持つ。

二、ジョイントイノベーションアカデミーの建設

海外の先端技術の導入、ジョイントイノベーション人材の育成、グローバルイノベーションテクノロジーより早く良い着地のために、日本海外投資協力株式会社は日本でグローバルジョイントイノベーションアカデミーを建設することを提案する。イノベーションアカデミーは「グローバル視野、ジョイントイノベーション、一生の勉強、絶えない貢献」という理念に基づき、国と企業のために未来科学技術を把握でき、クロスボーダー協力とグローバルイノベーションをリードできる人材を育成する。

イノベーションアカデミーのカリキュラムと教育方法は主に以下三つの方面に注目する。（1）：グローバルテクノロジーの追跡と発展（2）：ジョイントイノベーションで人類が直面している挑戦の解決。（3）：ジョイントイノベーション人材とリーダーの育成。

三、知識財産権プラットフォームの導入

日本海外投資協力株式会社が投資し主導する知識財産権プラットフォーム（以下は「プラットフォーム」と言う）は世界先進的なIPを引き寄せ、インターネット、ビッグデータ及びブロックチェーン等の技術手段を利用し、IPの検索、登記、保護、授権、融資、取引などの機能を実現することを建設目標とする。当プラットフォームはIPエコチェーンにあるすべてのプロサービス機構（特許、法律、会社サービス、仲裁など）を集め、またIPを

仮想化、資本化、スピンアウトにして、進んだIPを充分に利用する目標に達成する。知識財産権フラットフォームは「日本財産権取引センター」と互いに補充し合い、それに対して対外取引ルートを提供する。

知識財産権プラットフォームには三つの方面の特徴がある。一、フラットフォームはインターネットを通じて地域の制限を破って、政府がエンドースし支えてくれて、法規及びプロサービス機構が全面的にサービスを提供する保護連盟を形成し、大量な海外技術が日本市場に進出できることを保障する。二、大量な上場会社を技術需要側として、当プラットフォームで便利で速やかに相応しい技術の的を見つける。三、一旦需要とマッチングできた場合、ジョイントイノベーション基地が付帯する投資、会社登記及び人材育成は迅速に日本での新しい会社の着地を支援し、発展を持続させ、ジョイントイノベーションエコシステムを作る。

付録

1、日本海外投資協力株式会社の紹介

日本海外投資協力株式会社はイノベーション型投資公司であり、グローバルパートナー及び連合機構を通して日本と海外のジョイントイノベーションの金融サービスを提供する。その中には国内外基金の管理及び投資、業界を超えたジョイントイノベーション投資機関の業務と業界を超えた人材の育成サービスが含まれる。

日本海外投資協力株式会社のビジョンは使命感のあるグローバル化の尊敬される資本、人材及びシェアのプラットフォームになることである。イノベーションに投資したり、投資を革新したりして、テクノロジーに注目し、産業に勝つという投資コンセプトに基づいて、市場のニーズを満たし、グローバルな解決案を探し、クロスボーダー投資をし、ジョイントイノベーションを行い、リターンと退出に注目している。

2、日本海外投資協力株式会社の投資分野及びプロジェクト

日本海外投資協力株式会社は長年の投資経験を持ち、100以上の日本国内外からの知識財産権、科学技術会社及び投資基金への投資に成功した。金融革新、生命健康、工業製造 4.0、先端教育などの分野に対する投資に取り組んでいる。